



チュウシャクシギ(米子)

米子市 文化活動館 通信



キョウジョシギ(米子)

弓浜紜体験など多彩な講座に参加を



館長 中村輝彦

春爛漫の今日この頃です。厳しい寒さが緩み、萌える草木に春の訪れを感じていたのも、遠い記憶となりました。春は動植物の命の営みが始まるなど自然界が大きく躍動し、私たちの生活も新入学や社会人デビューなど希望に満ちた第一歩を踏み出す大切な季節です。現在、世界情勢は不安定で、新型コロナウイルス感染症も影を落としています。それでも私たちは希望を胸に着実に歩み続けたいものです。

米子市文化活動館では、新年度の各種講座が5月から順次スタートします。毎年好評を博している「ベーシックヨガ教室」、「初めての中国語教室」、「いざという時の着物着付教室」などです。また、今年度は「実用書道教室」が始まります。国の伝統的工芸品「弓浜紜」については、令和2年度に続き、5月に「弓浜紜体験教室」を実施します。昨年度に初めて試みた「織物教室」は、最初の受講生が継続して3クール(計18回)に取り組みました。今年度は、初めて織機に向かう人が対象の織物教室入門講座のほか、昨年度の受講生が継続して学ぶ「織物教室初級講座」も準備しています。多彩な講座に、多くの市民の皆様がご参加頂ければ幸いです。

弓浜紜の世界(番外編)

弓浜紜は江戸時代、農家の自家用として始まって特産品となりました。このため、農家によって絵柄などに特徴がありました。制作工程は、細部の説明が難しいため、極めて簡略化すれば、以下のようです。

- ①綿繰り →収穫した伯州綿を綿繰り機で種と繊維にわけます
- ②綿打ち →種を取り除いた繊維をほぐして方向を一定にします
- ③糸紡(つむぎ) →糸車を使って綿を紡いで糸にします
- ④種糸工程 →種糸台に白い糸を張って墨で下絵を描きます
- ⑤よこ糸工程 →種糸を基に絵柄となる染め残す部分をくくる作業を行った後、糸の束を染めて紜糸を作ります
- ⑥たて糸工程 →糸の長さや張りなどをそろえ、糸を織機に通してセットします
- ⑦製織 →糸の白く染め抜かれた部分を合わせながら絵柄を織り出します



シロチドリ(米子)



出雲守・門部王 中海の千鳥に京を思(しの)ふ歌 「意宇(おう)の海の川原の千鳥汝(な)が鳴けば我が佐保川の思ほゆらくに」-奈良時代の歌人、門部王(かどべのおおきみ)が、出雲国(島根県東部)の国守(長官)を務めていた際に詠んだ和歌として知られている。『万葉集』巻三に「出雲守門部王、京を思ふ歌一首」として収められている。「意宇の海」は現在の中海で、「川原」は出雲国府(松江市大草町など)付近を流れる意宇川の川原だろうか。「佐保川」は、奈良の平城京の川で千鳥のほか、カジカガエルの美しい鳴き声が響く場所として、風流な京の人たちに親しまれていた。このため、門部王の和歌は「中海にそそぐ国府近くの意宇川の辺りでしきりに鳴く千鳥の声に、京の佐保川が懐かしく思い起こされる」と望郷の念を詠んだもの。奈良期における「千鳥」は、シギやチドリの仲間の総称とみられ、ハマシギなどの大群を「千羽の鳥」と表現して「千鳥」と呼んだとの説がある。万葉集には、門部王の出雲時代の和歌がさらに1首みられる。「門部王が恋の歌一首」として「意宇の海の潮干の潟の片思(かたもひ)に思ひや行かむ道の長手(ながて)を」だ。角川ソフィア文庫『万葉集』の現代語訳では「意宇の海の潮干の干潟ではないが、片思いにあの子のことを思いつめながら辿ることになるのか。長い長いこの道のりを」としている。(山)

学べる講座 アラカルト



前回(R2年11月)の弓浜緋体験教室

募集 弓浜緋体験教室

- ◆5/17(火) 13:30~16:00
- ◆講師 工房ゆみはま
- ◆内容 糸紡ぎ、機織りなどの工程を学びコースター製作
- ◆定員 10人(先着順)
- ◆受講料 1000円(材料費込み)

募集開始 5/6(金)9:00 から



織物教室③(1-4月、全6回)が開かれ、講師の指導で作品づくりに取り組む受講生

募集 織物教室入門講座

- ◆期間 6/28~9/13 火曜日の6回
- ◆時間 13:30~15:30
- ◆講師 手織工房 藍慈彩(あじさい)
- ◆内容 糸巻きなどの工程を学びマフラー製作 ◆定員 12人(先着順)
- ◆受講料 6000円(別途材料費)

募集開始 6/3(金曜日)9:00 から

募集 実用書道教室

- ◆期間 6/27~10/3 月曜日の12回
- ◆時間 13:30~15:00
- ◆講師 後藤溪流(文平)先生
- ◆定員 12人(先着順)
- ◆受講料 3000円(別途教材費)

募集開始 6/3(金曜日)9:00 から

募集 ベーシックヨガ教室

- ◆期間 6/28~9/13 火曜日の12回
- ◆時間 19:30~21:00
- ◆講師 山口由起子先生
- ◆定員 16人(先着順)
- ◆受講料 3000円

募集開始 6/6(月曜日)9:00 から

利用者の皆様 マスク着用をお願いします

募集 いざという時の着物着付教室

- ◆期間 7/25~10/31 月曜日の12回
- ◆時間 19:00~21:00
- ◆講師 田中佳津子先生
- ◆定員 14人(先着順)
- ◆受講料 3000円

募集開始 7/4(月曜日)9:00 から

募集 初めての中国語教室

- ◆期間 7/29~10/21 金曜日の12回
- ◆時間 19:00~20:30
- ◆講師 呉 燕先生
- ◆定員 12人(先着順)
- ◆受講料 3000円(別途教材費)

募集開始 7/4(月曜日)9:00 から



文化活動館は3月16日、消防訓練を全スタッフが参加して行いました

休館日 ◆5月=毎週水曜日と3日(火)、5日(木) ◆6月=毎週水曜日 ◆7月=毎週水曜日と18日(月)

利用時間 開館日の利用は平日と土曜日が9:00~22:00(日曜日は17:00まで)。部屋貸し出しは閉館の15分前まで。



あとがき

ここ数年、年度初めにその年の目標を密かに決めている。ご立派な目標ではなく、少し気を付ければ簡単に達成できること。「人の話を最後まで聞く」、「笑顔を忘れない」のような単純な目標である。が、しかし、これがなかなか思うようには達成できない。人生の修行が足りないのか、生来の性格のなせる業なのか…。それでも懲りずに今年もまた目標を立てている。私の人生の修行はまだまだ続く。(rahashi)

お申し込み・お問い合わせは 米子市文化活動館 ☎0859(34)5154

〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目24-31 FAX=0859(30)4788

米子市文化活動館 指定管理者 旭ビル管理株式会社 <https://asahibiru.com/ybkk/>